

第16回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年12月5日
会場：八成小学校

「みんなのしあわせ」を創るためにできること

「杉並区教育ビジョン2022」では、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げています。今回の意見交換会は、八成小学校の6年生が「自分のしあわせ」、「みんなのしあわせ」とは何か、そして「みんなのしあわせ」を創るためにはどうしたらいいのかを、考えていきました。

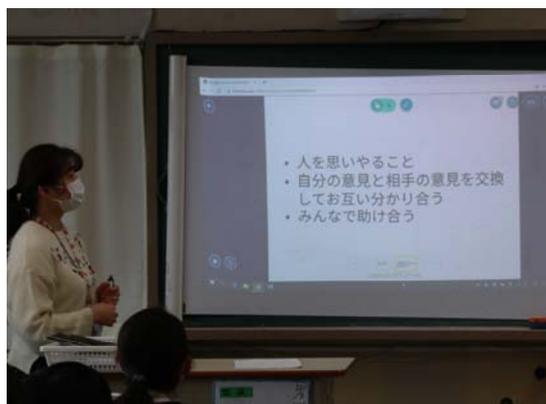


自分にとってのしあわせとは何か、タブレット端末に入力し提出しました。

①「自分のしあわせ」とは

まずは、「自分のしあわせ」をそれぞれが考えていきました。「友達と遊ぶこと」、「健康でいられること」、「美味しいものを食べること」など、児童によってさまざまな「しあわせ」を考えていました。

何人かの児童が「自分のしあわせ」を発表しました。ある児童は、「塾から帰って、お母さんが作ってくれたご飯を食べる時がしあわせ」と母親への感謝とともにしあわせを感じる瞬間を説明しました。また、「人と何かを共感できた時にしあわせを感じる」や「自分の個性や努力を認めてくれる場所や人がある（いる）ことがしあわせ」など、まわりの人との関係の中に「自分のしあわせ」があると考える児童が多くいました。



提出された意見を電子黒板に映し出し、全体で共有しながら進めていきました。

②「みんなのしあわせ」とは？

人によってしあわせに感じることはさまざまであるということが分かってきたところで、「みんなのしあわせ」とは何か、グループになって話し合いました。

あるグループでは「みんなで協力して成功した時にみんなのしあわせが生まれるのではないか」という意見が出て、そこから「みんなで協力すること自体（そのような関係性があること）がみんなのしあわせでは

ないか」と議論が発展していきました。グループでの話し合いの後、代表者が話し合いの内容を発表しました。「みんなが自分の感情を素直に出せること」、「それぞれの人の個性を尊重し合える関係があること」、「いじめや犯罪がない世界」など、「みんなのしあわせ」もさまざまであることが分かりました。

③「みんなのしあわせ」ってなんだろう

続いて「みんなのしあわせ」を創っていくために、自分たちには何ができるのか、何をすればいいのか、引き続きグループで話し合いました。

普段の何気ない生活がしあわせであると考えたグループからは「感謝感謝の気持ちを持つ」という表現で、日常生活を支えてくれる人たちへ感謝の思いを持つことの大切さを説明してくれました。「自分の意見と相手の意見を交換して、お互いを分かり合うこと」「自分の個性を持ち、人の個性を尊重すること」など、分かり合おうとすること、尊重することが大切であると考えたグループが多くありました。



話し合いの様子

④振り返り

最後に、何人かの児童が意見交換会を通じて考えたことや感じたことを話してくれました。

「自分のしあわせだけではなく、みんなのしあわせを創ってみようと思えることができた」、「これから、自分のしあわせを意識して探していきたい」、「今日考えたことをちゃんと実践できるようにしたい」、「食べる、学ぶ、寝るといった当たり前前にできていることを大切にしたい」など、どの児童も意気込みを語るように話してくれました。この意見交換会で、それぞれの児童に気付きや意識の変化があったことが伝わってきました。



発表の様子

意見交換会を振り返って

「杉並区教育ビジョン2022」では「一人ひとりが教育の当事者として日常的に心がける視点」として、「子どもの思いを尊重する」、「ちがいを受け入れる」、「対話を大切にする」、「学びの成果を贈り合う」、「社会を創る当事者として考える」の5つを示しています。児童の話し合いの中で、「人の個性を尊重する」や「意見を交換することが大切」などの意見が出ており、表現する言葉こそ違いますが、「人権」や「多様性」など大人と同じような考えに辿り着いていました。大人と同じか、それ以上に考えることができる八成小学校の6年生の考える力を強く感じる事ができました。

第16回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

- ・開催日 令和4年12月5日
- ・参加者 八成小学校 6年生

令和5年2月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111